



今年度表彰をお受けになった方々
表彰おめでとうございます



日付	式典、大会	表彰区分	表彰を受けた方
7月14日	四日市市民生委員 児童委員大会	四日市市社会福祉協議会 会長表彰	采女町南部 坂上百合子さん
		四日市市民生委員児童委員 協議会連合会会長表彰	采女町北部 櫻井八千代さん
10月6日 中止	四日市市社会福祉大会	四日市市社会福祉協議会 会長表彰	采女が丘 山田喜久子さん
		同会 会長感謝	采女が丘 小柳由美子さん
10月6日	都市緑化関係功労者 表彰式典	団体	内部駅・小古曾駅花を育てる会
		個人	采女城跡市民緑地として5年以上 無償提供されている皆様
11月8日	令和3年度四日市市 スポーツ功労賞	スポーツ荣誉賞	内部地区在住 川端魁人さん
		スポーツ功労賞	内部地区出身 中村匠吾さん
			内部地区在住 川端魁人さん
		スポーツ地域有功賞	内部地区社会福祉協議会 太田耕介さん
10月28日	四日市市自治会長大会	5年表彰	泉町 長谷川達さん
11月4日	令和3年度四日市市 敬老功労者表彰	市長表彰	采女町南部 永田貞好さん
		老人クラブ連合会会長表彰	波木町 矢田信治さん
1月9日	消防出初式	県消防協会表彰 (勤続5年以上)	水谷建太さん
			尾崎航大さん
		四日市市市長感謝状 (勤続3年以上の消防団退職者)	亀田繁幸さん

令和3年も新型コロナの感染拡大は続き、内部地区でも文化祭をはじめとする多くの行事が中止となるなど大きな影響がありました。行動が制限され人とのつながりが薄くなる中、地域の情報を共有することにより「うつべの絆」が強まることを願っています。

うつべ町かど博物館

地域のコミュニティ施設「広場うつべ館」として再スタート



その結果、設立母体を「内部地区まちづくり推進協議会」、運営管理母体を「内部地区社会福祉協議会」及び「うつべ☆スター」として、当館の施設や敷地を拡充活用して地域のコミュニティ施設として地域の皆様はもちろん、東海道を旅する人たちの憩いの場としても活用していくことになりました。

2021年度には新たな運営管理体制のもと、施設の改装・整備に着手するとともに、博物館の展示内容の充実を図りながらその機能を向上、継続していくことになりました。

一つは従来どおり「うつべ町かど博物館」の名称を引き継ぎ、

- 内部の歴史と文化の発信する場所
 - 子どもたちの歴史・体験学習の場所
 - 多様な学習の場所
 - 地域の文化・文芸作品発表の場所
- であり、もう一つが地域のコミュニティ施設として、
- 地域住民/団体の憩いの場所
 - 地域イベント実施の会場
 - まちな居場所
 - 地域住民の散歩、東海道歩きのオアシス
- として皆様のご利用を期待しています。



昨年のまつりの様子

リニューアルを記念して、当館の施設や一新された展示内容をご覧いただくとともに様々な体験イベントに参加していただくために「町かど博物館まつり」を開催します。

日時：2022年3月21日（月曜日・祝日）

「広場うつべ館」は、「ささえる」「まもる」「そだてる」「つなぐ」といった視点でこれからも地域に貢献してまいります。

「うつべ町かど博物館」は博物館と集会所とを併せ持った複合施設「広場うつべ館」として生まれ変わりました。

2007年にスタートしたうつべ町かど博物館は内部の歴史文化の発掘・伝承・情報発信を目的として活動してきましたが、当館の施設のより一層の有効活用を図るため、2020年度以降内部地区まちづくり推進協議会をはじめとする関係団体を中心となり、機能や運営体制について検討を重ねてきました。



回覧 (まつりの参加自由)
体験参加申込：2022年3月11日(金)まで
(参加費ご負担下さい)

第2回
手作りチャレンジ!
町かど博物館まつり

新型コロナウイルス感染症防止対策の目安
- 検温、収容人数を厳格に管理する
- 換気を行う
- 密着、長時間の滞在を避ける
- 感染リスクの高い場所は滞在を避ける
- 発熱、咳、喉の痛み、呼吸器症状、腹痛、嘔吐、下痢、頭痛、倦怠感、味覚・嗅覚障害、アレルギー症状、その他、急変を伴う症状が出現した場合は速やかに退場してください。

うつべ町かど博物館として内部の歴史と文化を伝えてきた施設を「広場うつべ館」として地域のコミュニティ施設に改装、「後援」と「協賛」のあるまちに、町かど博物館と集会所の複合施設です。広くご利用をいただけるようイベントスペースを確保しました。また、来館者を検する人たちの「検察」体験用として、
- 検察用
- 検察用となる検察用まつりでは、物どお、フラット作務、用紙一本作務などご自分で作務作りを楽にお楽しみください。また、フルタイム・ウェルネス検察、検察の検察などもご用意しています。ぜひ、楽しみながら検察用を体験してください。

開催日時
3月21日 (月・春分の日)
13:00受付(検温・手指消毒)
13:30~16:30

参加無料!
お申し込みは不要です

会場
広場うつべ館(うつべ町かど博物館)(東海道秋葉原寄り)

お問い合わせ
内部地区社会福祉協議会
内部地区社会福祉協議会事務局(うつべ☆スター)
0593-84-1111
TEL/FAX (059) 8880 0400 0401 0402

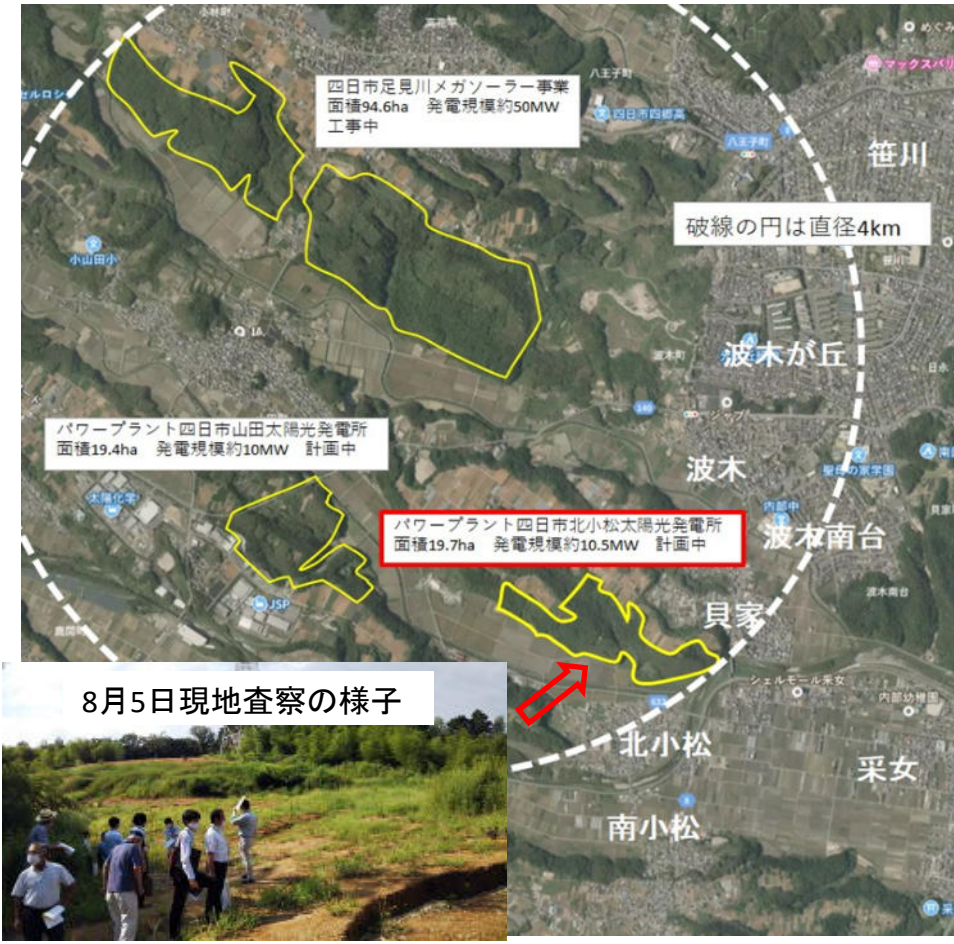
8/2 夏休み防災教室 子どもの防災ずきんを作ろう!

子ども9人、保護者5人の14人が参加、女性防災ドリームステップメンバー5人を加えた計19人で開催しました。女性防災ドリームステップは結成して3年目になり、「子どもたちの防災意識を高めることで若い親世代にも伝わってほしい」という思いで、今年も夏休み講座を開催することにしました。防災ずきんや新聞紙スリッパを手作りして使い心地を確認しました。
今回は、おじいちゃん、お母さんの参加もあり、防災を楽しく学べた2時間でした。



9/3 北小松に大規模ソーラー発電所

北小松町の北、貝家町から西に向けて鎌谷川左岸段丘の平坦地に、事業規模19.7ha、発電量約10.5MW(パネル数約17,600枚)の大規模太陽光発電所計画(事業名:パワープラント四日市北小松太陽光発電所)が進められています。
三重県の環境影響評価条例に則って、事業者(合同会社地域共生発電所)による簡易的環境影響評価書の縦覧、四日市市による専門部会及び現地査察が行われ、県においても、環境影響評価委員会による評価書の審査が行われました。
北小松の事業を含む4kmの円内には、すでに工事が始まっている足見川メガソーラー事業(山田町・小林町・波木町 94.7ha)およびパワープラント四日市山田太陽光発電所事業(山田町19.4ha)があり、近隣地域の貴重な里山が急激に消えようとしています。(下図参照)



6/30 NHK番組「日本人のおなまえ」 采女の杖突坂・血塚社が登場



10月21日(木)、三重県を特集したNHK番組「日本人のおなまえ」で三重の名前の発祥の地として四日市市采女の杖突坂、血塚社が紹介されました。番組看板の法被を着たディレクターが杖を突き、喘ぎながら杖突坂を上り、倒れこんだという場面に四日市市博物館広瀬学芸員が登場して、三重の名前が古事記に書かれている倭建命(日本武尊)の「三重の勾(まがり)のように疲れた」という故事由来することを解説されました。
広瀬氏は倭建命の言葉にある勾(まがり)とは米や小麦の粉をこねてひも状にした生地をねじって油で揚げた「勾餅」のことであり、「三重ノ勾」とは足が腫れて「三重に曲がった勾餅」に譬えたことを粘土を使って勾餅の形を作って示しました。
郷土内部地区の史跡、采女町の「杖衝坂」、「血塚社」が広く全国に向けて発信されたことは大変喜ばしく誇らしいことです。



取材撮影は取材班4名が杖突坂に4か月以上前の6月15日に来て行われたものです。2時間にわたる取材の後、傍のうつべ町かど博物館で記念撮影。取材から放送までにこんなにも長い時間をかけて作られることが分かったのも驚きでした。

1/8 新春グラウンドゴルフ大会



内部東小学校グラウンドにおいて内部地区社協体育部主催、うつべ☆スターが運営実施したグラウンドゴルフ大会が行われました。今年度の多くのイベントがコロナ禍で中止に追い込まれる中、例年10月に行われるこの大会も延期されていましたが、屋外かつ密になりにくい競技であることから新規感染者数の減少を待ってこの時期に行われました。参加者は46名と例年の1/3となりましたが、好天に恵まれ新春の打ち初めを楽しんでいました。
この試合は四日市市地域社会福祉協議会連絡協議会が行う地区対抗グラウンドゴルフ大会(3月1日火曜日、四日市ドーム)への出場選考を兼ねて行われ、成績上位10名が出場となります。

2/1 東小学校児童の夏休み自由研究 全国コンテストで「科学賞」を受賞

10月21日(木)、植物の生態に興味をもつ内部東小学校5年生の宮本侑佳さんが夏休み自由研究の調査中に絶滅の恐れのある「ヒナノシャクジョウ」を発見したとして昨年11月に中日新聞などで報道されましたが、このほど宮本さんがまとめた「シダとコケの違い」の作品が全国児童才能開発コンテストで「科学賞」を受賞しました。
宮本さんの研究は、自宅裏山の公園や森、通学路に生えているシダやコケ60種類以上を採取・標本にし、名前や生態の違いなどを図鑑や植物誌などで調べまとめたもの。この調査の中では絶滅危惧Ⅱ類に指定されている「ヒナノシャクジョウ」が発見できたことをはじめ、シダ胞子の培養研究などその高度な科学的内容が評価されて公益財団法人才能開発研究財団が主催するコンテストの受賞となったものです。



2/1 内部東小学校の新しいトンボ池と成育環境の整備 令和3年度内部ホテルの会活動報告書



内部のホテルを育てる会が例年行っている秋の報告会はコロナ禍のため中止となり令和3年度版報告書が関係者に配布されました。
報告書では例年各自自治会が行っていたホテル観察会こそ中止されましたが、各地の生息調査結果や内部小学校、内部東小学校の両校で行う農業体験教室やホテル教室開催への支援などの活動が報告されています。

特に新しい活動として、昨年度から取り組んでいる内部東小学校トンボ池の周辺を整備して新たに40mの池を作り水の流れを設けるなどのホテル生育環境を考慮して完成しました。更にザリガニ駆除を施し、県内のホテルネットワーク関係者から提供されたホテルの幼虫及び餌のカワニナを放流して新しくホテルの里を造る様子が詳しく記されています。

2/18 姿を見せた内部川橋梁(橋の名称が近々決定)

四日市鈴鹿環状線は四日市市東富田町を起点として市中心市街の西外周部を通って鈴鹿市玉垣町を結ぶ県道計画です。内部地区では南部丘陵公園南ゾーンから内部川右岸の一般県道三畑四日市線までの采女北工区の工事が急ピッチで進められ、このほど内部川に架かる139.5mの橋梁がつながりました。



この後、前後の取付道路工事が進められ令和6年度に供用開始とのことです。この橋から南に伸びて国道1号までをつなぐ1.7kmの采女南工区は用地測量がこれから進められようとしている段階であり全線の開通はかなり先となる見込みです。橋の名称については、1)采女大橋、2)令和内部大橋、3)内部川大橋を候補として提出、県側で審査中です。